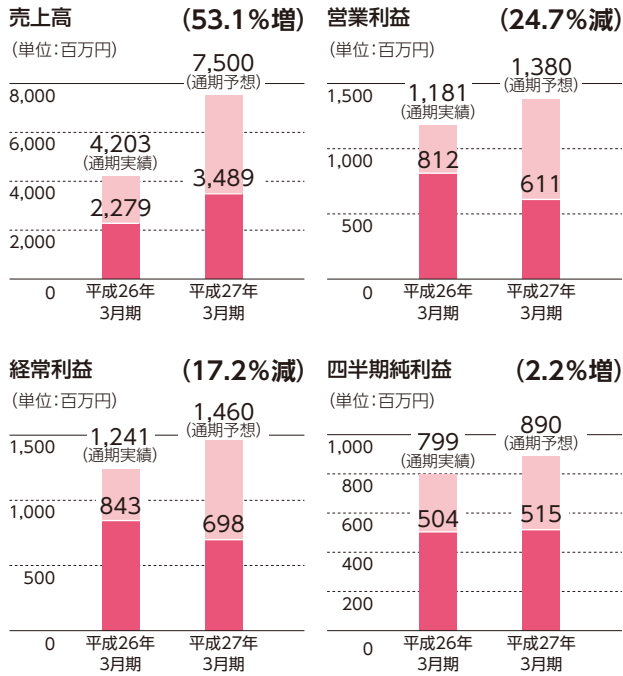


第2四半期業績ハイライト



株主優待のご案内

当社は平成27年3月末の株主さまを対象に、株主優待を開始します。

保有株式数	優待商品
100株以上500株未満	JCBギフトカード2,000円分
500株以上	JCBギフトカード4,000円分

このたび、当社は平成26年12月31日を基準日として、1:2の割合で株式分割を行う旨を発表しましたが、株主優待については株式分割後もその基準を変更しません。

■例えば…



※保有株式数が100株(単元株)に満たない方は、対象外となります。

株式分割および配当金のお知らせ

当社は平成26年12月31日を基準日として、1株につき2株の割合をもって株式分割を実施します。本株式分割に伴い、平成26年5月8日に発表した今期配当予想を下記の通り修正しましたが、**下図の通り、分割前の1株換算では実質的な配当金は据え置きとなります。**

	中間配当 (平成26年9月末)	期末配当 (平成27年3月末)	年間配当
前回予想 (平成26年5月8日発表)	35円	35円	70円
今回修正内容	35円	17円50銭 17円50銭	52円50銭 17円50銭

平成26年12月31日 1:2の割合で株式分割	株式分割を考慮しなければ、35円 (17円50銭×2)	株式分割を考慮しなければ、70円
----------------------------	--------------------------------	------------------

IRカレンダー

平成26年

12月 8日(月): 中間配当金お支払い開始
12月31日(水): 株式分割基準日

平成27年

2月 5日(木): 平成27年3月期第3四半期決算発表
4月 1日(水): (株)ビーコンITと合併(予定)

会社概要 (平成26年9月30日現在)

商号	株式会社ビーエスピー
設立	昭和57年5月
上場	東京証券取引所 JASDAQ市場 (証券コード:3800)
資本金	13億3,000万円
所在地	〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
ホームページ	http://www.bsp.jp/
お問い合わせ	広報IR室 TEL:03-5463-6384

※表紙写真には、新BSPグループとして、手を取り合い新たな世界へ飛び出すという意味を込めました。

株式会社ビーエスピー
証券コード: 3800



平成27年3月期 第2四半期 決算レポート

平成26年4月1日～平成26年9月30日

株主の皆さまへ

事例ご紹介

グループ会社のサービスをご紹介～(株)ビーティス編～

第2四半期業績ハイライト

株主優待のご案内

株式分割および配当金のお知らせ



代表取締役
社長執行役員 竹藤 浩樹

朝夕の寒気が身にしみる季節となりました。株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

先般11月6日に発表いたしました、平成27年3月期第2四半期決算の概要をご報告申し上げます。

決算の概要

当社グループでは、今期を本年1月に子会社化した株式会社ビーコン インフォメーション テクノロジー（以下、(株)ビーコンIT）との組織融合を進め事業シナジー基盤を作り上げる重要な年度と位置づけています。

なお、当社と(株)ビーコンITは、平成27年4月1日付けにて合併を行う基本合意書を締結いたしました。

〈平成26年度経営方針と施策〉

(1) 経営資源の早期融合による事業基盤の強化(先行投資)

クラウド事業を再編・強化するため、両社の組織を統合し、Be.Cloudサービスの新製品を開発・投入しました。また、ビッグデータ市場、BPM(ビジネスプロセスマネジメント)市場への対応を強化するための人員増強と、販売提携したソフトウェアAG(株)のデータ活用領域製品の日本企業に対するマーケティング調査を実施しました。また、既存事業の付加価値向上では、システム運用を迅速かつ確実に自動化する仕組みとしてRBA(ランブックオートメーション)技術調査のための人員増強や、主力製品である「A-AUTO(エーオート)」のユーザの裾野拡大を目指した無償版の開発等、積極的な投資を行いました。

(2) 収益力強化のための製品・サービスの統廃合

(株)ビーコンITが取り扱う他社製品の一部を市場性と収益性の観点から改廃するとともに、案件ごとのプロセスマネジメントの精度を強化しました。

(3) グループ・シナジーの基盤作り(両社協働)

お客様のニーズ掘り起こしのためのクロスセルスの展開やオフィスの統合等を行い人心の融合を図りました。

これらの結果、売上高の前年同期比では、システム運用事業

の技術支援の増加、(株)ビーコンITの連結寄与等により増収となりました。利益面では、新規事業への対応として、戦略的に既存事業から新規事業への技術者再配置を行ったことから投資が先行する形となりました。また、製品販売の小額化ならびにメインフレーム事業の減収により減益となりました。

① データ活用事業

本事業の売上は、11億30百万円、営業損失は84百万円となりました*。お客様の既存システムの更新投資については、Windows Server 2003のサポート終了に関わるバージョンアップサービスは引き続き好調に推移しています。また、企業のITシステム部門の人手不足が継続しており、これを受けて技術支援サービスも堅調に推移しています。

② システム運用事業

本事業の売上は、9億17百万円(前年同期比7.0%増)、営業損失は2億96百万円(前年同期は2億31百万円の損失)となりました。

製品ライセンスの取得が購入型からサービス利用型へと変化し投資額も小型化するなか、製品販売価格が低下しました。一方、技術支援サービスでは、システム移行案件やバージョンアップの積極的な提案活動を通じて、売上は伸長しました。

また、当社では小規模用途向けのジョブ管理自動化ツールを「A-AUTO50(エーオートフィフティ)」として開発し、9月よりウェブ環境で無償提供を始めました。この取り組みにより、システム運用に携わる方々の「A-AUTO」利用者の裾野拡大を図ってまいります。

③ メインフレーム事業

本事業の売上は、11億74百万円(前年同期比17.4%減)、営業利益は9億27百万円(同14.2%減)となりました。

オープン化やダウンサイジング化の潮流を受け、前年同期比では減少したものの、金融業界でのサーバ更改案件の増加や大手地銀数行によるシステム共同利用の大型案件を受注したことから、計画値は上回りました。

④ その他事業

本事業の売上は、2億67百万円、営業利益は64百万円となりました*。

(株)アスペックスでは、好調な人材派遣マーケットに対して製品販売の強化を行い、売上が順調に伸長しました。また(株)ビーティスでは、情報漏えい等への関心の高まりを受け、セキュリティサービスの取り込みを行いました。

(※本事業は、(株)ビーコンITグループの事業領域のため前年同期比は記載していません)

事例ご紹介

グループ会社のサービスをご紹介～(株)ビーティス編～

利用者が安心して路線バスを利用するためのユニークなITサービス

当社グループの(株)ビーティスは、十勝バス(株)と北海道大学との産学連携により、路線バスの目的別検索クラウドサービスを開発しました。今年4月より十勝バス(株)では、この運行検索サービスを開始しています。

本サービス開発のきっかけは、十勝バス(株)が実施したお客様アンケートでした。アンケート結果によると、路線バスを利用しない理由の最も多いものは不便だからではなく、「不安だから」。「前から乗るのか後ろから乗るのかわからない」「目的地の最寄りのバス停がわからない」「乗車時刻や到着時間がわからない」など、地方の路線バス利用にはさまざまな「わからない」がつきまといまいます。

そこで、利用者の不安を解消するため、(株)ビーティスは十勝バス(株)と共同でスマートフォンのGPS機能と数千カ所の地図情報および時刻表情情報を組み合わせ、目的地を指定すると出発地から到着地までの時間と経路を表示する目的地検索サービスを開発しました。

これにより、バスの時間や経路検索だけでなく、「病院へ行くには」「町役場へ行くには」という目的別で検索が可能になり、利用者の不安を解消することができました。

地方に住む方にとって、なくてはならないインフラである路線バス。このシステムを通じて、観光客やビジネス客などの新たな層を開拓することで十勝バス(株)の業績と地方の活性化に一役買っています。

